

施策評価表			後期 «平成28年度～平成32年度»	
計 後 画 期 体 基 系 本	政策	2. 未来の担い手と共に育つまち【子ども】	施策統括課	子育て支援課
	施策	7. 子どもの権利を守り、安全で健やかに成長できるまちをつくる	関係課	社会教育課・学校教育課・健康課 まちの魅力推進課・福祉課

### 1. めざそう値からみた達成度

成果指標	単位	基準値	H28目標値	実績値の年次推移	判定
		目標	H28実績値		
自分がまわりの人から大事にされていると感じる子どもの割合 (児童・生徒アンケート)	%	87.9	92.4 より上		b
		↗	89.9		
子どもに関する地域・サークル活動に参加した大人の割合 (町民意識調査)	%	24.5	27.6 より上		b
		↗	26.6		
子どもに関する地域・サークル活動に参加した子どもの割合 (町民意識調査)	%	73.7	76.3 より上		c
		↗	69.1		

めざそう値達成度：a…目標を達成している、b…目標をわずかに達成していない c…目標を達成していない

2. 取り組み方針の実施状況と方向性

7-1 子どもが安心して生きる権利を保障します					所管課					
町民意識調査からみた重要度 子どもの権利保障 25位/28項目					子育て支援課					
成果指標	単位	基準値	目標	区分	実績値の年次推移					判定
					H28	H29	H30	H31	H32	
自分がまわりの人から大事にされていると感じる子どもの割合 (児童・生徒アンケート)	%	87.9	↗	目標値	92.4	-	-	-	-	×
				実績値	89.9	-	-	-	-	
児童虐待相談件数	件	38	↗	目標値	38	-	-	-	-	○
				実績値	47	-	-	-	-	
中学生の子どもの権利条例の認知度 (中学生への子どもの権利に関するアンケート)	%	35.8	42.0	目標値	42.0	-	-	-	-	×
				実績値	31.7	-	-	-	-	
一般住民の子どもの権利条例の認知度 (町民意識調査)	%	17.8	20.0	目標値	17.8	-	-	-	-	○
				実績値	18.3	-	-	-	-	
成果指標達成度：○…目標を達成している ×…目標を達成していない										成果指標総合判定
成果指標総合判定：A…成果指標判定がすべて○、B…半数以上が○、C…半数未満が○										B

まちが取り組むべきこと①	子どもの権利条例の周知と理解促進に向けた取り組みを充実させます
主な取り組み状況	・子どもの権利フェスタの実施や小中学生に対して権利講座等を開催し、子どもの権利条例の周知に努めた。(子育て支援課) ・町職員等への子ども権利条例の理解促進のため、正職員、学校職員に加え嘱託職員に対して研修を実施した。(子育て支援課)
課題	直接子どもと接する保育園、幼稚園などの職員等に対する権利条例の周知
H30取り組み方針	子ども権利フェスタ等を通して、広く子どもの権利条例の周知に努めるとともに、子どもに直接触れあう保育園・幼稚園職員等に対する理解促進を進める。
まちが取り組むべきこと②	児童虐待と子どもの育ちの問題について意識啓発を行い、虐待の早期発見に向けた主体的な取り組みを進めます
主な取り組み状況	・子どもの権利フェスタにおいて児童虐待防止のブースを設置し、意識啓発を行った。(子育て支援課) ・育児相談等において悩みの解消を図ることにより、虐待の未然防止に努めるとともに、早期発見のため乳幼児健診の未受診者の状況把握を行っている。(健康課)
課題	広く一般に対する児童虐待の意識啓発。
H30取り組み方針	関係機関との連携による児童虐待に対する啓発を行うとともに、早期発見への体制づくりを行う。
まちが取り組むべきこと③	子どもの相談体制の充実、関係機関と連携しきめ細かな支援の実施により、虐待の被害にあった子どもの保護を推進します
主な取り組み状況	児童相談所も参加する要対協庁内連絡会議開催により、関係機関との連携により、要保護児童の対応、支援を行っている。
課題	児童虐待など要保護児童が増加傾向であり、職員の対応体制が難しくなっている。
H30取り組み方針	関係機関との連携により、児童虐待等に対するきめ細やかな支援や対応を進める。
取り組み方針の達成状況	
<input checked="" type="checkbox"/> 方針に沿った取り組みを実施し、ほぼ目標どりの成果をあげている <input type="checkbox"/> 方針に沿った取り組みを実施したが、成果があがっていない <input type="checkbox"/> 方針に沿った取り組みを実施できず、成果があがっていない	
30年度の取り組み方針の方向性	<input type="checkbox"/> 重点 <input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> その他

7-2 子どもの居場所をつくります					所管課					
町民意識調査からみた重要度 アンケート結果なし					子育て支援課					
成果指標	単位	基準値	目標	区分	実績値の年次推移					判定
					H28	H29	H30	H31	H32	
志免町地域子ども教室の充足率	%	65.1	↗	目標値	65.1	-	-	-	-	×
				実績値	62.8	-	-	-	-	
通学合宿年間延べ参加者数	人	99	↗	目標値	109	-	-	-	-	×
				実績値	67	-	-	-	-	
子ども(中学生から18歳)の居場所「リリーフ」の延べ来所人数	人	318	↗	目標値	1,302	-	-	-	-	×
				実績値	1,191	-	-	-	-	
成果指標達成度：○…目標を達成している ×…目標を達成していない									成果指標総合判定	
成果指標総合判定：A…成果指標判定がすべて○、B…半数以上が○、C…半数未満が○									C	

まちが取り組むべきこと①	公園や公共施設を活用し、子どもの遊び場や居場所の充実をはかります
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが安心して過ごせる居場所「リリーフ」の周知を図ったことにより来所者数が増加している。(子育て支援課)</li> <li>行政提案型協働事業として、子育て支援団体がプレーパークを実施した。(子育て支援課)</li> <li>土曜日や日曜日、夏休みの子どもの居場所として、生涯学習館ジュニア講座を開催した。(まちの魅力推進課)</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て支援団体の実施するプレーパークは、一団体の主催のためか、特定の家族の参加が目立った。(子育て支援課)</li> <li>生涯学習ジュニア講座の受講希望者が多く、抽選により受講できない者が多くなっている。(まちの魅力推進課)</li> </ul>
H30取り組み方針	子どもの遊び場や居場所の充実を図るため、様々な子どもが利用できるよう多様な主体による居場所づくりを推進する。
まちが取り組むべきこと②	学校施設については、青少年のスポーツ団体等との連携をはかり、子どもたちがスポーツ活動に参加する機会を確保します
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>平日放課後の時間帯、学校施設の運動場や体育館など、ジュニア団体に貸出しを行っている。(社会教育課)</li> <li>青少年が所属する文化・スポーツ団体に補助金を交付することでその活動を支援し、子どもたちのスポーツ・文化活動の機会の確保に努めている。(社会教育課)</li> </ul>
課題	なし
H30取り組み方針	子どもたちのスポーツ・文化活動に参加する機会を充実させるため、関係団体を支援するとともに、その活動できる場所の確保に努める。
まちが取り組むべきこと③	地域子ども教室(チャレンジひろば)を充実させるとともに、通学合宿や子ども会育成会を通じた活動への支援を充実させます
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏休みの地域子ども教室を実施する実行委員会に対して、その費用の一部を助成している。(子育て支援課)</li> <li>子ども会育成会についてはその運営費の補助を行うとともに、子ども育成会連絡協議会の主催事業に関する連絡調整などを行い、その活動を支援している。(社会教育課)</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域子ども教室は、希望者が多く利用できない児童が増加している。(子育て支援課)</li> <li>通学合宿は、習い事等による参加者の減少や団体ボランティアの負担が大きいため実施が難しくなっている。(社会教育課)</li> </ul>
H30取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域子ども教室については、その活動を拡充できるよう、学校施設の利用を含めて支援を充実させる。</li> <li>子ども会育成会の活動の支援を充実させることにより、子どもたちの地域での居場所づくりを促進する。</li> </ul>
取り組み方針の達成状況	
<input type="checkbox"/> 方針に沿った取り組みを実施し、ほぼ目標どおりの成果をあげている <input type="checkbox"/> 方針に沿った取り組みを実施したが、成果があがっていない <input checked="" type="checkbox"/> 方針に沿った取り組みを実施できず、成果があがっていない	
30年度の取り組み方針の方向性	<input type="checkbox"/> 重点 <input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> その他

7-3 子どもの健全育成を推進します					所管課					
町民意識調査からみた重要度 子どもの健全育成 9位/28項目					社会教育課					
成果指標	単位	基準値	目標	区分	実績値の年次推移					判定
					H28	H29	H30	H31	H32	
子どもに関する地域・サークル活動に参加した大人の割合 (町民意識調査)	%	24.5	↗	目標値	27.6	-	-	-	-	×
				実績値	26.6	-	-	-	-	
子どもに関する地域・サークル活動に参加した子どもの割合 (児童・生徒アンケート)	%	73.7	↗	目標値	76.3	-	-	-	-	×
				実績値	69.1	-	-	-	-	
青少年育成団体活動支援団体数	団体	35	→	目標値	35	-	-	-	-	×
				実績値	26	-	-	-	-	
成果指標達成度：○…目標を達成している ×…目標を達成していない									成果指標総合判定	
成果指標総合判定：A…成果指標判定がすべて○、B…半数以上が○、C…半数未満が○									C	

まちが取り組むべきこと①	子どもの生きる力を育むために、体験活動や地域での活動等を支援します	
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年が所属する文化・スポーツ団体に対し補助金を交付し、その活動を支援した。(社会教育課)</li> <li>・育成者に対し、青少年問題協議会等を通して、青少年の健全育成に関する学習の機会を提供した。(社会教育課)</li> <li>・アビスパ福岡の協力のもと、体を使った運動の講習会を開催し、子どもの運動能力向上に取り組んだ。(社会教育課)</li> <li>・図書館では、子ども講座や子どもとしよかんまつりを開催し、工作等の体験活動を行うとともに、読み聞かせ会やブックスタート事業により読書や読み聞かせに関心をもってもらうよう取り組んだ。(社会教育課)</li> <li>・シームイト子どもイベントとして、高齢者・子どもの保護者・子どもと三世代が一緒に触れ合う機会を提供した。(福祉課)</li> </ul>	
課題	図書館子ども講座は、受講者には好評だが、人気講座の定員増、また対象学年の見直し等を行っていくことが必要。シームイト子どもイベントも、子どもの日(祝日)には、町外でもいろいろなイベントが行われ、参加者や来場者が減少傾向にある。	
H30取り組み方針	子どもの生きる力を育むため、様々な子どもたちが参加できるよう、体験活動等を実施するとともに、多様な主体の地域活動を支援する。	
まちが取り組むべきこと②	子ども会育成会連絡協議会を通じた活動を支援し、子どもに関する地域活動、サークル活動のリーダー育成などにより子どもの地域活動の充実をはかります	
主な取り組み状況	子ども会育成会についてはその運営費の補助を行うとともに、子ども会育成会連絡協議会の主催事業に関する連絡調整などを行い、その活動を支援している。(社会教育課)	
課題	子ども会育成会については、近年、習い事などで子どもたちが地域の活動に参加する時間の余裕がなくなっている。	
H30取り組み方針	引き続き、子ども会育成会連絡協議会を通じた活動を支援し、子どもに関する地域活動、サークル活動のリーダー育成などにより子どもの地域活動の充実を図る。	
取り組み方針の達成状況		
<input type="checkbox"/> 方針に沿った取り組みを実施し、ほぼ目標どおりの成果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 方針に沿った取り組みを実施したが、成果があがっていない <input type="checkbox"/> 方針に沿った取り組みを実施できず、成果があがっていない		
30年度の取り組み方針の方向性	<input type="checkbox"/> 重点 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> その他	

### 3. 施策の総括と今後の展開

めざそう値「自分がまわりの人から大事にされていると感じる子どもの割合」は、H28年度目標値92.4%より上に対し、実績値89.9%と目標を達成できなかったが、増加傾向にある。小中学生に対し子ども権利条例に関する講座等を開催することで、関心も深まっているのではないかと推測する。今後とも子ども権利条例の啓発や相談体制の充実、虐待等の対応のための関係機関の連携強化など体系的に施策を展開する必要がある。

めざそう値「子どもに関する地域・サークル活動に参加した子どもの割合」は、H28目標値76.3%より上に対し、H28実績値69.1%と目標を達成できなかった。目標に届かない直接的な原因の究明はできていないが、P T Aを含む青少年問題協議会委員などの情報から、近年、習い事などで子どもたちが地域の活動に参加する時間の余裕がなくなってきていることや、時間のある子どもは室内でゲームなどに熱中している傾向があるのではないかと考えられる。今後は、子ども会育成会連絡協議会を支援する事業を継続して行い、活動を続けている地域と共に健全育成に取り組んでいく。

### 4. 施策の進行状況

- 目標に向かって順調に進んでいる
- 目標に向かってある程度順調に進んでいる
- 目標に向かってあまり進んでいない
- 目標に向かって進んでいない